

講話「レオロジー・クラシック」2016

今年度は東京で開催します！

主催：日本レオロジー学会

協賛：化学工学会，紙パルプ技術協会，高分子学会，色材協会，日本化学会，日本材料学会，
日本バイオレオロジー学会，日本油化学会，日本ゴム協会，プラスチック成形加工学会

日時：2016年6月17日（金）10:00～18:30

会場：化学会館 6F 601AB 直通 TEL:03-3292-6246

〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-5 <http://www.chemistry.or.jp>

趣旨：レオロジーは現在の工業技術において不可欠の概念であるが，一方で初心者には取っ付きにくいと言われている。しかし学び方によるとそうではない。この講話においては，レオロジーの研究・教育のベテラン（レオ老人と自称している）が，面白くて役立つこの分野を易しく紹介する。この講話の受講は，より本格的な内容を含む「レオロジー講座」（12月に東京で開催予定）を受講するための準備としても最適である。

プログラム：

10:00～11:00

第1話 レオロジーとは

京都大学名誉教授 尾崎 邦宏

「レオロジー早分かり」を聞いて「そうか」と思っていた。代表的なレオロジーの現象を紹介し，分野の広さとその重要性を認識してもらう。レオロジーの勉強法を知っていただく。

11:00～12:00

第2話 レオロジー入門 Part I

京都工芸繊維大学名誉教授 高橋 雅興

「レオロジー」に入門する。ひずみ，応力，弾性率，粘度，粘弾性，緩和時間など基本的な用語を覚えてもらう。この学問分野の「真髓」をやさしく説明することにより，自分なりの「レオロジー像」を獲得していただく。

12:00～13:30 昼休憩

13:30～14:30

第2話 レオロジー入門 Part II

京都工芸繊維大学名誉教授 高橋 雅興

Part I を少し発展させて，測定法の基礎についても納得いただく。

14:30～14:45 休憩

14:45～16:45

第3話 高分子レオロジークラシック

東京大学名誉教授 土井 正男

レオロジー研究の初期の歴史と高分子粘弾性の基本的な概念（粘度の3.4乗則，からみ合い分子量，高分子粘弾性の4領域，温度-時間換算則など），粘弾性理論の基礎になるゴム弾性の初歩などを分かりやすく紹介し，20世紀の高分子レオロジーの目覚ましい展開を味わっていただく。

17:00～18:30

第4話 余談（懇談・懇親会）

軽い食べ物と飲み物を取りながら講師（レオ老人）と懇談すると，さらに理解が進むかもしれない。

懇親会 カフェパンセ 明治大学駿河台校舎 アカデミーコモン1階

<http://www.meidai-support.com/access/index.html>

参加費（講話資料・懇親会費込）：主催，協賛学協会会員 30,000円 非会員 40,000円 学生 10,000円

※単行本「講座・レオロジー」（お土産）付き

申込締切：2016年6月9日（木）

定員：50名 **※定員になりましたので，参加申込を締め切りました。**

申込方法：~~学会HPの申込フォームからお申し込み下さい。~~

~~不可能の場合は申込書（HPからダウンロードしていただけます）に必要事項記入の上，メールでお申し込みください。~~

① 学協会会員である会社・事業所等よりお申し込みの場合は，参加者が非会員であっても会員として取り扱います。

② 参加費は銀行振込または郵便振替で，6月30日（木）までにお振込み下さい。不可の場合はその旨ご連絡をお願い致します。

銀行：三菱東京UFJ銀行 出町支店 普通4192464，郵便：01040-6-17564

名義は「一般社団法人日本レオロジー学会」（ニホンレオロジーガツカイ）

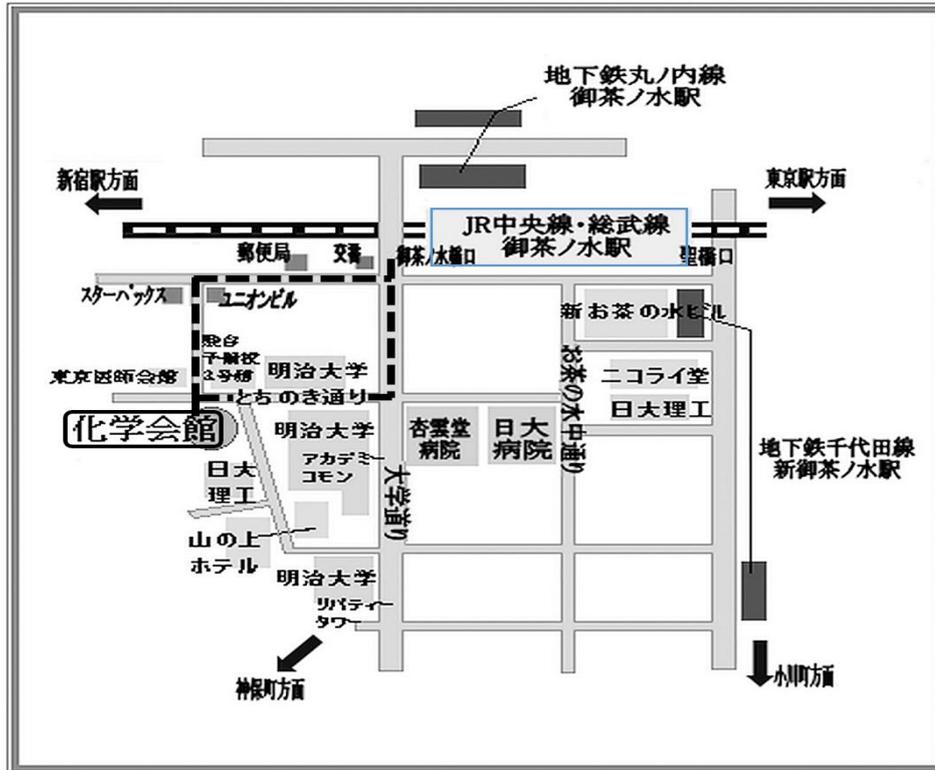
③ 申込者には前もって参加証（名札）を送付いたします。

申込先：一般社団法人 日本レオロジー学会

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都リサーチパーク6号館3F

TEL:075-315-8687 FAX:075-315-8688 E-mail: office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/index-j.html

化学会館へのアクセス：



交通機関：

JR 中央・総武線	御茶ノ水駅	御茶ノ水橋口	徒歩3分
地下鉄丸ノ内線	御茶ノ水駅	出口2	徒歩5分
地下鉄千代田線	新御茶ノ水駅	出口B1	徒歩7分

講話「レオロジー・クラシック」2016 参加申込書

会社事業所名	所属学協会
所在地 〒	
電話： _____	E-mail: _____
参加費：会員 30,000 円× _____ 名, 一般 40,000 円× _____ 名, 学生 10,000 円× _____ 名	
振込先：銀行振込・郵便振替	
振込予定日：(2016 年 _____ 月 _____ 日)	
請求書：要・不要	
請求書宛先： _____	請求書日付： _____
受講者氏名： 1. _____ 2. _____	受付番号*

*印 記入不要